

総合学術博物館運営委員会 議事要旨

日 時： 令和5年6月29日（木） 15：30～16：10

場 所： オンライン開催

出席者： 河原（博）、尾上（附）、船越（リンクス）、豊田（リンクス）、宮久保（リンクス）、辻野（リンクス）、横田（リンクス）、伊藤（リンクス）、渡辺（人文）、河森（人）、福井（法）、廣田（経）、水谷（理）、祖父江（医）、荒井（薬）、中谷（工）、岡野（基）、蓮生（国共）、倉橋（生命）、藪田（微）、筒井（産）、鈴木（蛋）、桐原（接）、藤岡（レ）、阿部（サ）

欠席者： 前田（歯）、内山（情）、松尾（高）、朱（社）、進藤（全）

陪席者： 川添、中川、岡田、清水（博・適事務室）

<敬称略>

会議に先立ち、まず初めに河原委員長から就任の挨拶があった、その後、全委員29名のうち25名の出席により、運営委員会成立要件を満たした旨の報告があり、続いて、新たに委員に就任した船越副館長の紹介・挨拶があった。

【協議事項】

1. 研究時間確保の観点からの会議体の見直しについて (資料1)

河原委員長から、資料に基づき、教員の研究時間確保の観点から、運営委員会と兼任教員会議を来年4月から運営委員会に一本化する案の説明があり、これに伴う総合学術博物館運営委員会規程及び同兼任教員に関する申し合せの一部改正について、異議なく承認された。

2. 令和4年度総合学術博物館決算及び令和5年度総合学術博物館予算（案）について

(資料2)

事務室から、資料に基づき、令和4年度総合学術博物館決算及び令和5年度総合学術博物館予算（案）について説明があり、異議なく承認された。

なお、福井委員から、以下の意見があった。

・入館料や公開講座等で収益化が可能であるが、検討しているか。中之島芸術センターの広報が不足しているように見受けられるため、大阪観光局から協力の申し出があった。中之島は美

術館が集積するエリアであり、人の流れという点からもかなり収益が期待できるのではないかと。河原委員長から、独自財源を確保できるような取組を検討するため、まずは入館料を有料化することが可能か確認するとともに、中之島芸術センターは別部局であるが、中之島センターには博物館の展示コーナーも設けられていることから、前向きに検討したい旨の説明があった。

3. 次年度以降の展覧会企画について (資料 3)

横田委員から、資料に基づき、次年度以降の展覧会企画について説明があり、異議なく承認された。

4. その他

特になし。

【報告事項】

1. 待兼山修学館の開館等対応の変更について (資料 4)

河原委員長から、資料に基づき、6月29日現在、開館時間を10:30-17:00に戻し、団体受付・教員の解説を再開するなど、コロナ前と同じ状況で開館しているとの報告があった。

2. 令和4年度の入館者数について (資料 5)

河原委員長から、資料に基づき、令和4年度の入館者数について報告があった。

3. 総合学術博物館における広報・デジタル面の強化について (資料 6)

豊田委員から、資料に基づき、ニューズレター「まちかねミュージアム vol.1.5」を発行したこと、ホームページの「デジタル博物館」の常設展解説動画を英語化したことについて報告があった。

4. 令和5年度の寄贈・寄託について (資料 7)

船越委員から、資料に基づき、令和5年度の寄贈・寄託について報告があった。

5. 令和5年度の兼任教員について (資料 8)

河原委員長から、資料に基づき、前回2月27日の運営委員会で館長一任としていた人文学研究科の湯浅教授の後任について、橋本教授に就任いただくこととなった旨の報告があった。

6. 令和5年度以降の企画展等について (資料 9)

資料に基づき、令和5年度以降の企画展等について、担当者からそれぞれ報告があった。

- ・ 宮久保委員 「石濱純太郎展」
- ・ 横田委員 「ちんどん屋の魅力」
- ・ 船越委員 ・「豊中市所蔵京・大坂日本絵画の精華展」
 - ・ シンポジウム「“大阪的”とはなにか？水辺から考えるアート・おおさか・都心のくらし」
 - ・ シンポジウム「具体的研究の未来（仮題）」

7. 令和5年度の各種イベントについて (資料10)

船越委員から、資料に基づき、令和5年度の各種イベントについて報告があった。

8. 外部機関との連携状況について (資料11)

河原委員長から、資料に基づき、外部機関との連携状況について説明があり、船越委員から、6月22日及び23日に北海道大学で開催された「大学博物館等協議会」について、宮久保委員から「北大阪ミュージアムネットワーク」の今年度の活動について、それぞれ報告があった。

9. その他

特になし

以 上